

みんなで作る

安心・安全な
子どもたちの居場所

学童クラブ機能も充実!

すくすくスクール スタート!

区では、多くの子どもたちが安心・安全に過ごせるよう、放課後・土曜の居場所として「すくすくスクール事業」に取り組んでいます。

国の施策に先駆け、すでに今年度から鎌田小学校で実施しています。小学校施設を最大限に活用し、区の職員の見守りの中、児童が安全に過ごせる場を提供しています。

来年度からは本格的に、充実した学童クラブ機能をもつ「すくすくスクール事業」を各小学校で実施していきます。

また、地域の方々にもボランティアとして、子どもたちへの体験・きっかけづくりに参加していただき、大人も子どもも共に育ち合う居場所づくりを実現します。

問 学習・スポーツ振興課 ☎(5662) 2732



■学校の施設を活用し、みんなで遊びを工夫して仲良く過ごしています!

「すくすくスクール」って何?

放課後・土曜
小学校が子どもの居場所になります

今までの遊び場開放では、放課後や土曜には校庭でしか遊ぶことができませんでした。

「すくすくスクール」では小学校施設の空いている場所・時間などを活用します。放課後や土曜は、同じクラスの友達や年上・年下の子どもたちが一緒になり、スタッフの支援を得ながら校庭や体育館で遊んだり、多目的室などで工作や勉強など自由に様々な活動ができます。

また、仲間づくりのきっかけや行事などを、子どもたちや地域ボランティアの方々とともに企画運営します。

保護者が就労などで昼間家庭にいない子どもを含め、すべての子どもたちが一緒に過ごすことができ、地域の方々ともかかわりながら、共に育ち合う、学童クラブ機能をもつ新しい形の健全育成事業です。

運営 区と地域の方々による支援組織

対象 当該校に通っている子ども

※保護者や地域の方も一緒に参加することができます。



■学年を超えた友達と元気にボール遊び

参加時間 平日……………放課後～17時
土曜・学校休業日(夏休みなど)……………9時～17時
※日曜・祝日・年末年始を除く。

費用 無料(保険料などの実費はかかります)

一層充実します!

「すくすくスクール」内の学童クラブ

保護者が就労などで昼間留守になるお子さんのために「すくすくスクール」に学童クラブの機能をもたせます。

- 学童クラブはなくなりません! さらに充実していきます。
- 様々な学校施設を活動場所に、遊びと生活の場が広がります。
- 専門の指導員が責任をもって、子どもたちを安心・安全にお預かりします。
- 1～6年生まで、入室希望のお子さんすべてが入室できます。
- 「すくすくスクール」内で、学童クラブ以外の多くの子どもたちとふれ合う機会が生まれます。

育成時間 平日……………放課後～18時

土曜……………9時～17時

学校休業日(夏休みなど)…9時～18時(土曜は17時まで)

※日曜・祝日・年末年始を除く。

費用 月4,000円(育成料)

問 児童女性課 ☎(5662) 0073

「すくすくスクール」の実施スケジュールは?

平成17年度までにすべての小学校で「すくすくスクール」の実施を目指しています

今年度から鎌田小学校で通年の実施をしています。

現在、各小学校の施設・人材・地域のサポートなど様々な条件により、平成16年度「すくすくスクール」実施校の調整をしています。

来年度の実施校については、今後、広報えどがわなどでお知らせしていきます。

えどがわ環境塾

環境学習や環境保全などの活動に興味がある方を対象とした講座です。楽しく遊びながら環境について学びませんか。日時 10月4日～12月6日の毎週土曜13時15分～16時15分

塩沢号・穂高号運行予定表

Table with 2 main sections: 塩沢号 (塩沢江戸川荘) and 穂高号 (穂高荘). Each section lists dates, times, and destinations for various routes.

ボランティア入門講座

Table with columns: 科目, No, 日程, 会場, そのほか. Lists various volunteer activities and their details.

子育て講演会 「赤ちゃんとおそぼう」. Includes information about the speaker, venue, and contact details.

スポーツランド

アイススケートリンクオープン! 10月1日(水)～16年5月31日(月). Details about ice skating lessons and events.

用途地域見直しなどの素案の縦覧および公聴会の開催

都では、7月に本区が提出した「用途地域見直し原案」... Information about zoning plan reviews and public hearings.

希望の家まつり. Information about a festival including dates, times, and activities.

区内めぐり. Information about local tours and events, including a course for a fishing festival.

江戸川区奨学生募集. Information about scholarship applications for high school and university students.

メトロセブン・エイトライナー 合同促進大会開催. Information about a meeting for Metro Seven and Eight Line promotion.

ご案内 10月のおし. Information about movie screenings at the Shipura Cinema.

秋の交通安全運動. Information about a traffic safety campaign for autumn.

木全育英資金奨学生募集. Information about scholarship applications for the Kimikazu Education Fund.

住まいのフォーラム. Information about a forum on housing and living environments.

「青少年の翼」世界へはばたく

夢と希望がふくらむ貴重な体験!



ニュージーランドの雄大な自然を満喫! フォックスグラシア氷河見学



ニュージーランド派遣団



カナダ派遣団

たくさんの方々と出会い 心の交流 あふれる感動

積極的に話しかけ、楽しい思い出を ホームステイ先の家族、一生忘れない

異なる生活習慣・文化にふれ 身に付けた 広い視野と自信



草薙恭圭さん
(高校2年生・篠崎町在住)

4月の「広報えどがわ」の募集記事を見て、海外に行ってみたく、違う土地・異なる文化にふれてみたい、青少年の翼はその夢をかなえるいい機会だと思いました。

体験入学をしたウエストランドハイスクールの敷地は広く、授業も好きな本を自分で選んで読むといったのんびりしたものでした。生徒の授業態度は、先生に指名されなくても積極的に発言したり、うるさかったらお互いに注意し合ったりしている姿が目立ち、日本とは対照的な様子に感心しました。また、授業の一環で、原住民マオリの踊りを教えてもらいました。男女で踊り方が違い、男は狩りをイメージする勇壮な踊りで、自分たちの伝統的な文化を大切にしていることがよくわかり、興味深いものでした。

今回、まわりのみんなが英語で会話し、自分から何かわないとわかってくれない環境に置かれたことで、何でも自ら進んで行動していかなければいけないと思いました。日本語が通じなくても心は通じ合えることがわかり、自分に自信もつきました。これを機に、もっと違う生活習慣・文化にふれ、広い視野でいろいろなことを吸収していきたいです。また、日本の文化や地域のことについてももっと勉強していきたい、そして、その知識を今後の国際交流に生かしていきたいと思っています。



消防署を訪問して放水も体験

昨年、国際交流の一環としてウエストランドハイスクールから私のクラスに来た子がいたのですが、あまりふれあうことができませんでした。そこで今度は、自分からチャレンジしてみようと思いました。今回、その子と再会することができたので、日本での出来事や友達の話で盛り上がり、とても感激しました。

ホームステイでは、最初ホストファミリーの英語がわからず不安になってしまいましたが、もともと人と話すのが好きなので、勇気を持って話しかけました。日本から持っていたあやとりや紙風船などがとても役立ち、ホームステイ先の子どもたちと、



すぐさまホストファミリーに囲まれて

毎日のようにやっていました。特に印象に残っているのは、現地の人たちが会った人に必ずあいさつをすることです。人々の心の美しさを実感しました。

さよならパーティーでは、力を合わせて歌を披露し、感謝の気持ちを表しました。別れの寂しさと感動とでみんなの心が一つになり、涙があふれていました。

日本にいるとその生活が普通になってしまいましたが、外国には全然違う考え方があるということがわかりました。これからほかの国々へも行って、いろいろなものを感じていきたいと思っています。

また、自分の通う中学校に外国から来る子がいたら、今度は積極的に声をかけ、手助けをすることができればと思っています。



内之倉良佳さん
(中学2年生・松島在住)

団長を代表して

未来に夢を開く子どもたち 国際経験を積み、さらに頼もしく



ニュージーランド派遣団団長
臼井寛猛さん(松江第一中学校長)

学校体験入学の初日、日本人同士が固まっていたので心配していましたが、翌日には積極的に現地の子どもたちの中に入っていく打ち解けていきました。ホストファミリーともすぐに仲良くなりました。これが若さですね。今後、こうした経験を重ねた子どもたちによって、江戸川区、さらには日本の未来に大きく夢が開けていくと思います。



戸田 収さん
(中学3年生・南葛西在住)

私がお世話になったホストファミリーは、自分を本当の家族のように迎え入れてくれました。家事を手伝ったり、荷物運びをしたり、そうした家族の一員としての生活の中で親近感が深まったと思います。また、まつりやパーティーなど、地域の人とふれあう機会をたくさんつくってくれました。初めは緊張してうまく話せなかったのですが、出会う人みんながいろいろ話しかけてくれたおかげで、すぐに打ち解けることができました。人と話すのは苦手だったのですが、友達を作ったり、楽しく過ごすには話しかけることが必要だということに気づき、自分からも積極的に声をかけるようになりました。これは日本に帰ってからも続いています。

自転車で大自然の中を走ったり、水平線に沈む夕日を見に行ったり、家族のみんなとおしゃべりしたり、ホームステイの3日間はあっという間に過ぎました。別れのときは本当に辛くて、涙

が止まりませんでした。ホームステイ先の家族は本当の家族と同じようにとても大切な存在です。この家族のことを私は一生忘れません。

ところで、驚いたことがいくつかありました。日本のことを知らない人が多かったこと、まちを歩く人がいきいきと楽しそうに歩いていたこと、自分の行動は自分の責任に任されていることなどです。今後の自分の人生にこの経験を生かしていきたいと思っています。

また、カナダの大学を実際に見て、好きな分野を自由に勉強している姿を目の当たりにし、あこがれを抱きました。いつかこんな大学に留学してみたいです。



ホストファミリーとサマーフェスティバルへ

自然を満喫し、おおらかな人々とふれあい 得られた 心の余裕

英語を話すのが大好きで、以前から自分の力を試してみたいと思っていました。

キャンプでは、カナダの子どもたちと助け合い、テントを張ったり、ゲームをしたり。広大な森を生かしたアドベンチャー体験に足がすくんだことも。しかし、勇気を振り絞ってやったことで、自信ができました。英語はなまりがあり、聞き取るのに思ったより苦労しましたが、すぐに慣れました。期間中に迎えた誕生日をみんなに祝ってもらえたのが、すごくうれしかったです。

団員のみんなとは、時差ぼけになったときに優しく声をかけてもらったり、会話で困っていると

きにはその手助けをしたり、将来の夢や受験のことなど学年に関係なく語り合ったりする中で、学校では作れないかけがえのない友達となりました。

今回、この経験を通して、心に余裕がもてるようになりました。小さいことでよくよすることがあったのですが、おおらかなカナダの人々を見て、もっと肩の力を抜いて自然に生きていいかなと思うようになりました。また、英語はコミュニケーションの手段でしかないことに気が付きました。今までは、英語関係の仕事に就きたいという漠然とした夢しかありませんでしたが、これから英語を生かしてどう未来にはばたいけるか考えていきたいと思っています。機会があれば、ホストファミリーなどをして国際交流にも携わってみたいですね。



藤原希望さん
(高校1年生・中央在住)

第1回 貴重な海外体験で ひと回り大きくなって帰国！ 青少年の翼



「青少年の翼」は、野村・立井国際交流基金を基にして、外国の文化や生活習慣を学ぶため、中学・高校生を海外へ派遣する事業です。第1回目となる今年は、7月28日～8月8日の12日間、カナダ（29人）とニュージーランド（30人）に派遣しました。

区はこれからも、視野の広い、国際人としての感覚をもった人材育成のために、「青少年の翼」の充実に努めていきます。

問 文化課 ☎(5662)6140

募集から帰国まで

5月



▲広報えどがわ（4月20日号）に掲載

区内中学・高校や広報えどがわなどで募集開始。317人も応募がありました。書類審査・英語面接による選考が行われ、5月27日に派遣者が決定しました。

6月

3日に行われたガイダンスで派遣者は初顔合わせ。自己紹介を行いました。20日には結団式が行われ、派遣にあたっての目標・決意を団員代表が発表し、12日間の海外体験への期待が高まりました。



▲結団式での団員証授与

7～8月

4回にわたる事前研修を終え、7月28日、大きな期待を胸に全員元気に出発！



▲多田区長や家族に見送られて出発

現地で学び、体験したことを、8月29日の帰国報告会で発表。団員たちは現地の人々や仲間との心あたたまる交流を、自分の言葉で率直に報告しました。



▲帰国報告会

カナダ派遣団



▲大自然の中でアドベンチャー体験

行程

- 7月29日～8月1日
 - クワラカムビーチ市長表敬訪問
 - ホーンビー島で自然・アドベンチャー体験キャンプ
- 8月2日～5日
 - ホストファミリーとの交流
- 8月6日
 - ヴィクトリア市内見学
- 7月28日・8月6日～7日
 - 大学学生寮での体験宿泊

かえて
サトウカエデの樹液を煮つめてとれたものがメープルシュガーやシロップになる。

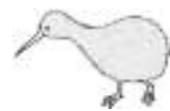


〔カナダ・クワラカムビーチ市長表敬訪問にて〕1列目左から＝勝田、森下、二瓶、チューニス・ウエストブロック市長、上野（団長）、吉原、増田、室橋、高野／2列目＝藤原、西野、橋田、東郷、羽角、戸田、畔木、井上（由）、渡邊、浅岡、古島、築比地、井上（誠）／3列目＝岩城、山崎、菱田、伊達、秋山、小熊、御宿、高田、石井〔敬称略〕

ニュージーランド派遣団

行程

- 7月29日～8月7日
 - ウエストランドハイスクール体験入学
 - ホストファミリー・ホキティカの人々との交流、町長表敬訪問
 - フォックスグラシア氷河見学
- 8月7日
 - クライストチャーチ市内見学



キウイ
ニュージーランドの国鳥。果物のキウイの名前は、この鳥の形からつけられた。



▲ウエストランドハイスクールでボーンクラフト（骨を加工して、ペンダントなどを作成）に挑戦



〔ニュージーランド・ホキティカ町長表敬訪問にて〕1列目左から＝菅谷、小熊、武田、菅（随行添乗）、臼井（団長）、ジョン・ドライリー町長、池澤、内之倉、福澤／2列目＝中澤、関野、高岡、吾月、平出、三瓶、石田、曾根、安田、池田、高嶋、小高、黒澤／3列目＝坂爪、菊地、高橋、草薨、長川、矢部、佐藤、伊藤、中村、江河、玉城〔敬称略〕